

なんだ・かんだ

◆ 今年の景気 ◆

日経新聞で毎年お正月に主要企業 20 社の経営者に今年の景気見通しを聞く特集があります。今年の見通しは、オミクロンの感染拡大などの不安要素はあるものの、穏やかに景気は回復して行く。というのが大方の経営者の考えでした。

出遅れていたサービス部門が回復し、大規模な経済対策の効果を元に内需主導で回復が進むと考えられています。経営者が抱えるリスク要因の筆頭はやはりコロナウイルスのオミクロン型の感染拡大ペースとその読みにくさです。

また、当社も昨年からの各種の値上げの対応が今年も続きますが、世界的な石油の高騰による物価上昇も大きなリスク要因です。一時下がりかけていた原油価格もこのところ再高騰し\$80/バレルを越え、ナフサも\$800/トン近くまで上がってきました。今後の同行が気掛かりです。

毎年、年初に今年の景気や会社の動向を予想する事が困難でしたが、今年も更に予想困難な年です。不確実性の時代という言葉がありました。まさに何が正しくて、何が間違っているのか分からない時代となっています。

そんな年頭書の予想の後10日余り過ぎて、日銀は1月の地域経済報告(さくらリポート)において、国内全9地域で景気判断を引き上げました。昨年の緊急事態宣言による消費低迷や、自動車などの分野で部品の供給制約の反動等があるということですが、全地域の景気判断が引き上げられるのは13年10月以来ということ。さくらリポートにはコロナの新変異型「オミクロン型」の影響は十分に反映されていない可能性があります。景気は確実に持ち直してきています。

反面、同日発表された昨年12月の景気ウォッチャー調査(街角景気)では、2~3カ月後を占む先行き判断指数は4.0ポイント低下して49.4と好不況の境目とされる50を4カ月ぶりに下回りました。今後の景気動向のポイントは年初の予想同様 ①新型コロナウイルスの感染状況 ②原油を中心に各種原料高 ③人手不足 としていました。

新型コロナウイルスの感染拡大は直接個人消費に直結します。昨春からの原材料価格値上げは、これまではある程度認められてきましたが、更なる値上げについても価格転嫁が進まなければ企業利益が圧迫されます。コロナが収束し経済が回復すれば需要拡大でさらに原料高が再加速しかねないという話も出ています。どこまで価格転嫁できるかが課題となります。

正月の挨拶回りでは、工作機械などの業界では今年の夏まで仕事がある等大変面白い話が出ていました。一方観光業界では一時の苦境は脱したもののまだまだコロナにはほど遠く、求人(人手不足)の問題も挙げられています。自動車関連は個別に事情は異なるようですが、当社のお客様では、生産は戻ってきてはいますが、設備投資の戻りは今一つというところでした。

色々な予想や不安要素はありますが、やはり気持ちの上では常にプラス思考で行きたいものです。

寅年は「成長」や「始まり」の年だそうです。新しい芽が「成長する」、新しい日常が「始まる」年になって欲しいと願っています。



■ 墜落制止用器具 ■

2019年2月1日より、高所作業時に使用される安全帯が、名称が「墜落制止用器具」に改められ、一部高さが6.75m以下で「胴ベルト型」を使用できますが、それ以外の高所作業においては「フルハーネス型」を使用することが原則となりました。法律改正の施工猶予期間3年がこの1月1日で終わり。旧規格の安全帯の使用ができなくなりました。

昨年末より駆け込みのご注文が増えメーカーの製造がひっ迫しています。モノにより2~3か月待ち、半年以上待つ頂くモノもあります。ご迷惑をお掛け致しますが、ご理解のほどお願い申し上げます。

今年の願い事

今年のお正月は、西から冬型の気圧配置となり強い寒気が南下して、日本海側から雪が降り、東日本でも雪となりました。仕事始めの週も非常に寒く、7日は山梨方面へ出掛けたのですが、道路脇にはかなり雪が積もっていました。今年も例年より少し寒い年の初めとなりました。

個人的には、今年のお正月は久しぶりに家族が揃って迎えることが出来ました。ただし、12月に背中を痛めたせいで、近所の神社へ初詣と、お墓参りに出掛ける以外はほとんど外出せず、当初予定していた御殿場アウトトレツトへの買い物も取り止め、恒例としていた富士山スカイラインの入口近くにある水ヶ塚公園への「富士山詣」も辞めました。

結局朝からお風呂に始まり、昼食にビールを飲みしばし昼寝。夕食が始まる前から今度はワインと小原庄助さんの様な飲んだくれの三が日を過ごしました。とても幸せな日々でした。

巷では、コロナウイルスのオミクロン型による第6波が急激に感染数を増やしていますが、コロナ禍も3年目に入り、ワクチン接種や経口薬等の開発が更に進んで完全収束する事が私の年当初の発願です。

代表取締役 服部 敏一郎

社員ブログ

● 知恵の輪 ●

総務部 遠藤都機恵

家にずっと外せない「知恵の輪」がありました。息子が小学生の頃に、誕生日プレゼントで買ってあげたものです。

私は1つの形の知恵の輪しか知りませんでしたが、今は色々な種類があり、形によって難易度が違います。

3個買った内の1個が、難易度が高くずっと引出しに入ったまま。時々やってみますが、最終的には諦めてまた引出へ。

この繰り返しで、5年経過。とうとう音を上げて、動画でやり方を確認して、やっと外せました！

1つのアクションで外そうとしていたけれど、それは不可能だったと痛感。嬉しくてまた元に戻し挑戦。しかし、外せません。棒の短い方を確認する必要があるのですが、私には同じ長さに見えてしまいます。これを簡単にできる人がいるのだろうかと思うくらいのレベルの高さです。

何回も挑戦し、簡単に外せるようになりますね。頭の体操に良さそうです。

息子の知恵の輪ですが、親が楽しんでます。



本レターのご提供に付きまして、ご不要・ご迷惑という方に付きましては、その旨ご一報頂きたいと思っております。次回からの発送を中止させていただきます。

株式会社チキリ
静岡県駿東郡清水町卸団地 73
Tel 055-971-9610 Fax 055-973-1534

E-mail ger@chikiri.com URL http://www.chikiri.com/